

自分が一番大事

—「1、2、3」は思いやりを育てる—

私が大好きで尊敬している「経営の神様・松下幸之助氏」は新入社員を前にして「**自分が世界で一番大事だ**、とはっきり言ったらいい」と話したそうです。当時の大会社・松下電器への入社希望者が「会社に骨を埋める覚悟です」などと、会社が最も大事そうなことを言ったりしたのでしょう。

ウソは言わなくてよい。はっきり本音を言った上で、社員本人自身と会社のために、働いてほしいということを言ったのだと思います。

誰でも本音を言えば「自分以上に大事なものはなし」と思うのです。

そしてもし目の前にいる人も、またそのように考える人だと気づけば「自分だけを大事だと考えないほうがよい」と気づくと思うのです。

つまり自分と他人と同じ重さで考えることは無理だとしても、バランスを考えながら生活する方がいいと気づけるでしょう。

ほんとうに自分を大事にしようと考えれば、他人と支えあうことが必要だという事にも気づくと思います。

現在は「自己中や利己主義」の人が多いですが、できれば他人に優しい人になって欲しいと考えています。

松下幸之助さんは坐禅をする人でした。そして相当深く悟った人でした。幸之助さんの坐禅は立花大亀という高僧の指導を受けていたようです。このような坐禅は私たち庶民にはマネのできないことです。

「1、2、3」は悟った人としての私が「誰でも、簡単にできる方法」として開発した方法です。そして坐禅以上に効果があると信じています。

「心の癒し」。今の時代は心のすさんだ人が多いようです。色々な心の癒し方があるかと思いますが、「1、2、3」は簡単な方法で、「考えない練習」をすることになり、かなり強力な効果を発揮します。

心の癒しを感じ始める頃には「**悟りへの道**」を進みはじめます。

「脳を変える心」に書かれているように新しい脳細胞が誕生してネットワークを形成し始めるからです。「思いやり」や「心の落ち着き」などの形で自覚でき始めるかもしれません。